

公明党の主張が実現しました!!



公明みさと

子育てしやすいまちづくり

保育所をふやします!

待機児童対策として、認定こども園の施設整備や増築及び、認可保育園の新規開設や増築整備に補助を行います。



©KOMEI TO

企業内保育所を応援します!

企業の事業所内に保育所を開設し、地域の子どもを預かる場合、補助金を交付します。これで企業はより多くの人材を確保雇用ができます。



©KOMEI TO

保育人材の確保を支援します!

認定こども園に勤務する保育教諭の業務負担の軽減や離職防止を図り、保育人材の確保に必要な費用を補助します。



©KOMEI TO

保育所の改修をします!

公立保育所施設の長寿命化を図るため、4か所の施設改修を実施します。
工事：・さくら保育所
・彦成保育所
設計：・丹後保育所
・早稲田保育所



©KOMEI TO

放課後児童クラブを拡大します!

児童クラブ待機児童対策として、入学児童が多く見込まれる小学校に対し、入室児童の受け入れ拡大を図ります。



©NEW KOMEI TO

三郷インター南地区に保育所が設置可能に!

三郷インター南地区の地区計画の条例策定時、(平成21年6月)流通工業系の操業環境に支障をきたすとの考えから保育所設置を制限していました。近年、事業所内に保育所の設置要望や働き方改革など社会情勢が変化したことから、保育所が設置できるよう条例改正をしました。

平成30年度予算決まる!

平成30年度の一般会計当初予算は、前年度と比較して1億9千万円、率にして0.4%の増加となる461億円になります。

新年度は、最重点施策事業として「地域拠点整備」「スポーツを活かしたまちづくり」「災害に強いまちづくり」の3項目。重点施策事業として「赤ちゃんから高齢者までの健やか支援」「学びと活躍の支援」「地域産業の振興」「都市基盤整備」の4項目が位置付けされました。

特に、「地域拠点整備」として(仮称)三郷流山橋の早期整備とスマートインターチェンジのフルインター化の実現に向けた事業に取り組みます。

「スポーツを活かしたまちづくり」は2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、新陸上競技場を利用した各種イベントの開催。「災害に強いまちづくり」として防災対策上必要な橋梁の補修、防災備蓄品の拡充、更に、子育てしやすいまちづくりとして、待機児童対策で民間保育園の開設などが拡充されます。

私ども公明党三郷市議団の数々の市民要望が反映された予算になっております。本年度も更に安全で安心して暮らせる、住み良いまちづくりを全力で推進してまいります。

「子育て支援ステーション ほほえみ」がオープン!

妊娠期から子育て期までのすべての親子をサポートする、子育て支援ステーションが4月にオープンしました。保健師・助産師・保育士等の専門家が、1人ひとりに寄り添った支援を行います。

子どもは未来の宝です。しかしながら、都市化が進むにつれて子育ての孤立化も懸念されています。子育ての多岐に渡った相談事にワンストップで対応できる窓口の重要性を訴えて参りました。

主な業務内容：

- 妊娠届出及び母子健康手帳、妊婦健康診査助成券の交付
 - 妊婦の方への面接により、状況に応じた支援プランの作成
 - 妊娠・出産・育児・保育に関する相談、サービスの案内 等
- 場所：健康福祉会館2階

※落ち着いた相談ができる様、原則電話での予約となります。
予約・問合せ：子育て支援ステーション ☎930-7827



©三郷市 2009

2018年
春季号

平成30年4月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所(公明党控室)
TEL 048(953) 1111



一般質問 ～3月議会～



郵送型血液検査の導入を!

市民の健康診査は、健康増進、医療費適正化のために重要ですが、受診率の引き上げが課題です。健診未受診者の健康状態を知る方策として、自宅で好きな時間に自分で、微量の血液を採取し検査センターに郵送する「郵送型血液検査」があります。簡単に出来る検査ながら、14項目もの検査が行われ、動脈硬化、心筋梗塞、肝炎などのリスクが判定され、忙しくて健診を受診しない人の健康状態のチェックに有効です。

そこで、郵送型血液検査の導入について質問しました。

その他の質問:

- ・生活困窮者の自立支援について
- ・認知症徘徊対策について



市民窓口サービスの向上を!

窓口は市民と行政の接点です。市民が満足できるような窓口サービスの向上に向け、「窓口向上委員会」の設置と、先進事例である、職員が申請書の作成をサポートする「書かない窓口」を取入れる事について質問しました。

SDGs「持続可能な目標」への取組を!

SDGsは2015年に国連サミットで採決され2030年を目標とした地球規模の課題解決に向けた取組で、「誰も置き去りにしない社会」を理念としています。三郷市の抱える諸問題もSDGsの目標とリンクしている為、推進に向け行政職員の研修を行う事と「第5次総合計画」の理念に取込む事について質問しました。

平成30年度 主な新規事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック関係

- スポーツ系、文科系交流イベント**
オリンピック種目・パラリンピック種目の体験コーナー、世界記録体験コーナー、オリンピック・パラリンピックアントークセッション等のイベント開催やギリシャ共和国にまつわる料理教室、オリーブ冠づくり教室、ギリシャ神話紙芝居等のイベント開催をします。
- スポーツトーチ展示会やスポーツ教室の開催**
過去に開催された夏季・冬季オリンピックの大会トーチ（聖火）の展示や日本とギリシャのアスリート・パラアスリートによる講演会の開催。
またスポーツの普及啓発を行うため、オリンピック等を講師に招いてスポーツ教室を開催することや陸上競技場や総合体育館等を活用しアスリートを講師に招き特色あるスポーツ教室を開催します。
- 事前キャンプ誘致**
本市のスポーツ資産等（陸上競技場、総合体育館）を有効に活用し、ギリシャ共和国選手団の誘致活動を実施します。
- 小中学校オリンピック・パラリンピック関連事業**
JOCオリンピック教室、パラリンピック教室、ランニング教室を開催また市内陸上大会及び水泳大会へオリンピアを招聘します。



©三郷市 2009

3月議会の議決より

国民健康保険の制度が変わります!

国民健康保険（国保）は、運営主体が、三郷市から埼玉県に4月1日より変わりました。広域化することで、財政基盤を立て直す為です。保険料は、埼玉県の標準賦課方式に変更することで、約6割の方が安くなります。また、低所得者世帯の軽減割合も拡充され、増える方でも、激変緩和措置を取られる場合もあります。国が国保制度を支援することで、国民皆保険制度を維持するための改正です。

介護保険料の第七期改定が行われました!

介護保険制度が第7期（3年ごとの見直し）となり、月額標準保険料が4,950円（旧来4,300円）になります。保険料の値上りを抑えるため、基金などから3億円の繰入をして、通常の算定額を430円減らしました。高齢化率上昇の中、保険料が増える傾向ですが、利用者の負担軽減策を図りました。（月額標準保険料は、所得区別11段階のうち5段階目）

災害に強いまちづくり

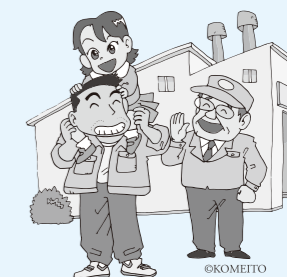
- 洪水ハザードマップの改訂**
洪水ハザードマップの内容を充実させた改訂版を作成し、配布します。
想定最大規模の浸水想定に基づき、氾濫時の危険箇所や避難場所について正確な情報の周知を図ります。
- 災害備蓄品の購入・防災倉庫の設置**
避難所等で必要となる備品の購入を行います。
また、指定避難場所となる施設（三郷工業技術高校）の敷地内に防災倉庫を設置します。
- 高規格救急車の更新**
多様化する救急現状のニーズに応えるために、高規格救急車を更新します。
また、救命率の向上を図るため、高度救命処置用資機材を充実させます。
- ペットのための防災手帳作成**
災害発生時に、動物の飼い主がペットの保護について対応できるようにするために、ペットのための防災手帳を作成し、日ごろからの備えや避難場所でのマナーを周知啓発します。



©ROMEITO

地域産業の振興

- 経営支援コンシェルジュの出前相談**
経営に関して気軽に相談ができる様、来庁することなく専門家による出張方式で出前相談を行います。
- 中小企業の知的財産支援**
知的財産の「創造」「保護」「活用」を図るため、弁理士・弁護士などの専門アドバイザーを窓口配置し、相談に応じます。
- 体験型ウォークラリーの開催**
二郷半緑道を中心としたエリアで、観光名所や商店などをめぐり体験型ウォークラリーを開催します。
- 事業所のPR誌作成**
様々な事業所を訪問・取材し、市内事業者の魅力をPRする冊子を作成します。
- 農産物のPR活動支援**
農産物のPRを目的としたポスター・チラシ・パネルなどの作成を支援します。



©ROMEITO

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715

▼この欄は最新情報!!